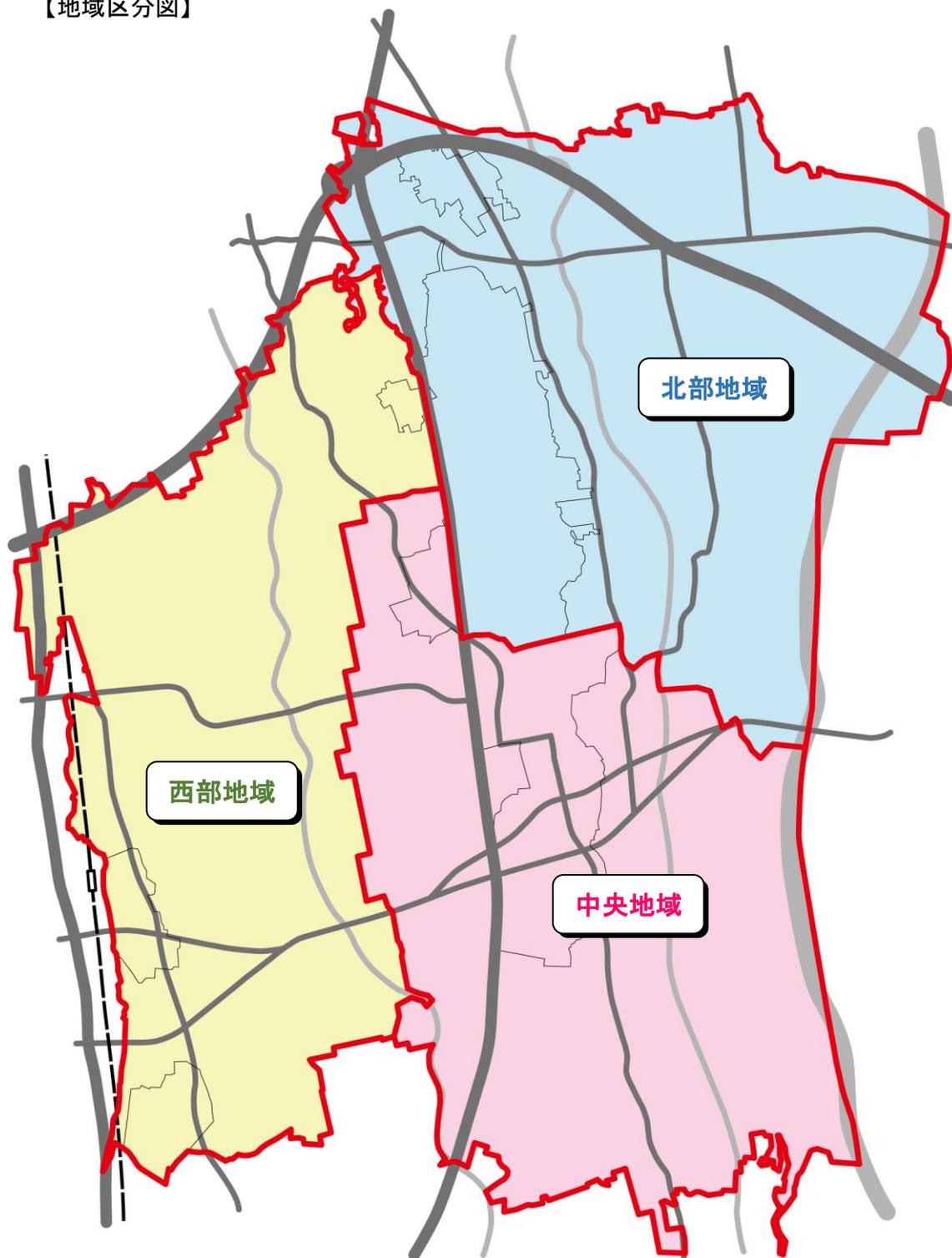


# 第5章 地域別まちづくりの基本方針

## \* 地域区分について

地域区分については、現在の生活圏域と基本構想における将来の方向性を勘案し、下図の3地域に分ける。各地域の特性を踏まえた詳細なまちづくり構想であるが、あくまでも上三川町全体の都市構造の実現を踏まえた内容とする。

【地域区分図】

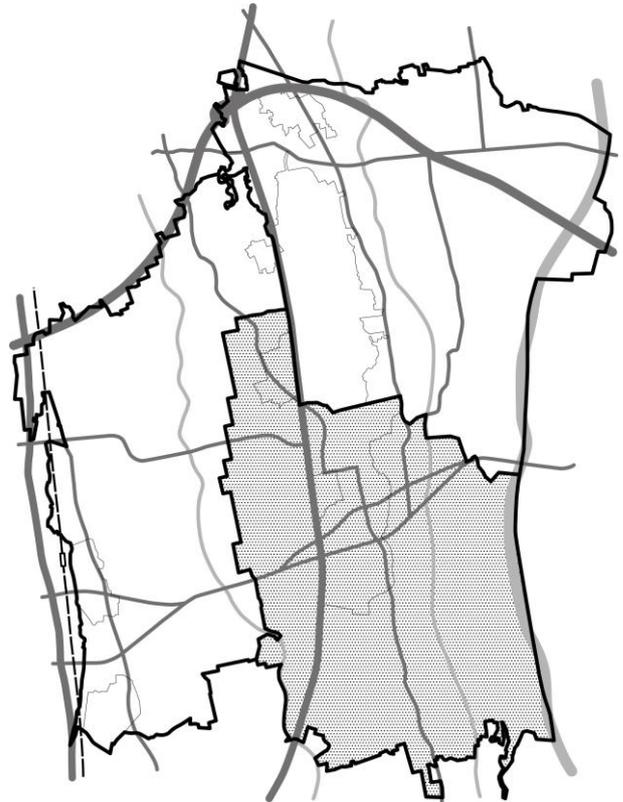


# 1. 地域別まちづくりの基本方針・中央地域

## (1) 地域の現況把握（現況シート）

### ① 概要（人口・世帯数はH28/4/1現在）

概況	<p>町の中心市街地として位置づけられ、役場や図書館等の主要な施設の集積や、上三川通りを軸にした商業地の形成など、都市活動の中心として機能している。中心市街地については、しらさぎ地区や上三川通りなどにより、まちづくりの核として重要な役割を担う。</p> <p>中心市街地以外については、鬼怒川や田園地帯・集落等、自然との調和を図るべき環境となっている。</p>
面積	1,800.05 ha
人口	14,854 人
世帯数	5,778 戸
法規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域</li> <li>・用途地域(約 265ha)</li> <li>・農業振興地域 農用地区域</li> <li>・河川区域</li> <li>・地域森林計画対象民有林</li> </ul>



### ② 地域整備状況

面的整備	区画整理：並木山王地区(施行済)
道路	都市計画道路：新4号国道、真岡壬生線、西通り(一部未整備)、上三川通り(一部未整備)、白鷺通り、愛宕通り(未整備)、並木通り、公園通り(一部未整備)、殿山通り、上野通り(一部未整備)
公園緑地	都市計画公園：富士山公園(地区：5.5ha)、上三川城址公園(近隣：1.6ha)、馬場公園(街区：0.16ha)、八丁公園(街区：0.25ha)、並木公園(街区：0.25ha)、殿山公園(街区：0.25ha)、上野公園(街区：0.25ha)、しらさぎ公園(近隣：1.7ha) 都市計画緑地：6号鬼怒緑地(124.4ha)
供給処理施設	町営上水道：整備中 公共下水道：整備中(一部処理区域外)
河川	国管理河川：鬼怒川 県管理河川：田川、江川、武名瀬川 その他の河川：赤沢川、磯川、雀川、武名瀬川
義務教育施設	小学校：上三川小学校(平成28年：649人) 坂上小学校(平成28年：106人)、北小学校(平成28年：184人) 中学校：上三川中学校(平成28年：381人)

③ 公共公益施設等の分布



## (2) 地域の特性把握

地域の構成としては、街の中に神社等の歴史ある建築物が混在し、城下町としての面影が共存する独特の雰囲気を持つ中心市街地の都市的空間、良好な農業基盤である水田の中に集落が点在する田園地帯、広域的なレクリエーションや憩いの場となっている鬼怒川の河川環境に分けられる。



沿道における店舗等の集積により商業地が形成されている上三川通り



貴重な歴史資源を活かした憩いと交流の場となっている上三川城址公園



交流や各種活動の拠点として多くの人が利用する上三川いきいきプラザ



東日本における南北の大動脈として機能し、町域の中央部を南北に縦貫する新4号国道



自然・親水環境、サイクリングロード等により憩いとシンボルの空間となっている鬼怒川



広々とした田園・集落による上三川らしいのどかなふるさとの景観・環境

### (3) 地域の将来イメージ

#### ① まちづくりのイメージの設定

まちづくりのイメージ

## 魅力とにぎわいのある都市活動拠点づくり

町の都市活動拠点である中心市街地における魅力とにぎわいのある都市環境づくりを大きなテーマとして掲げる。

さらには、地域の個性を活かしたまちづくりのための課題・目標となる項目を次に挙げる。

- ◎ 都市活動拠点としてのバランスのとれた都市機能の育成・強化
- ◎ 既成市街地・しらさぎ地区・田園集落における安全・快適な居住環境の形成
- ◎ 魅力ある商業空間と街並みの形成
- ◎ 中心市街地と田園集落の連携強化、均衡ある都市サービスの実現
- ◎ 中心市街地における歴史・文化拠点や鬼怒川等の自然・レクリエーション資源等をめぐる緑のネットワークの形成

#### ② まちづくりの基本方針

中央地域の個性を活かした魅力的なまちづくりを推進していくための基本的な方針を以下に示す。

##### 《バランスのとれた都市機能の育成・強化》

中心市街地については、地域のみならず町全域を対象にした都市活動拠点として、住・工・商・行政・レクリエーションの各機能についてバランスのとれた配置を図る。

##### 《安全・快適な居住環境の形成》

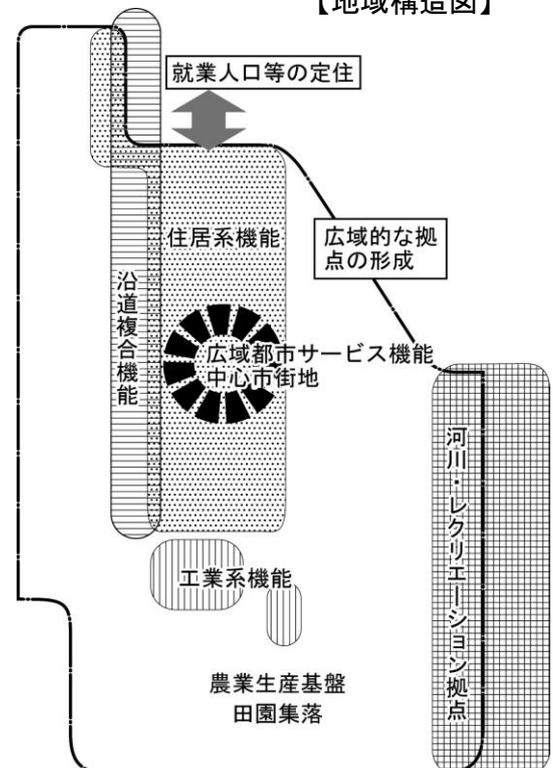
定住拠点であるしらさぎ地区をはじめ、市街地や集落における居住環境向上や安心安全な定住環境の確保等により「住んでみたい・住み続けたい」と感じられるような魅力あるまちづくりの推進を図る。

また、花貫内地区などの市街地縁辺部についても適正な土地利用の誘導を図る。

##### 《魅力ある商業空間と街並みの形成》

中心市街地については、上三川通りを軸に、城下町の雰囲気を活かした統一感のある街並み形成などにより、シンボリックな都市空間の創出を図る。特に行政・交流・商業機能・広域都市サービス等の機能が集積する中心部においては、安全で快適な歩行者のための環境づくりを図る。

【地域構造図】

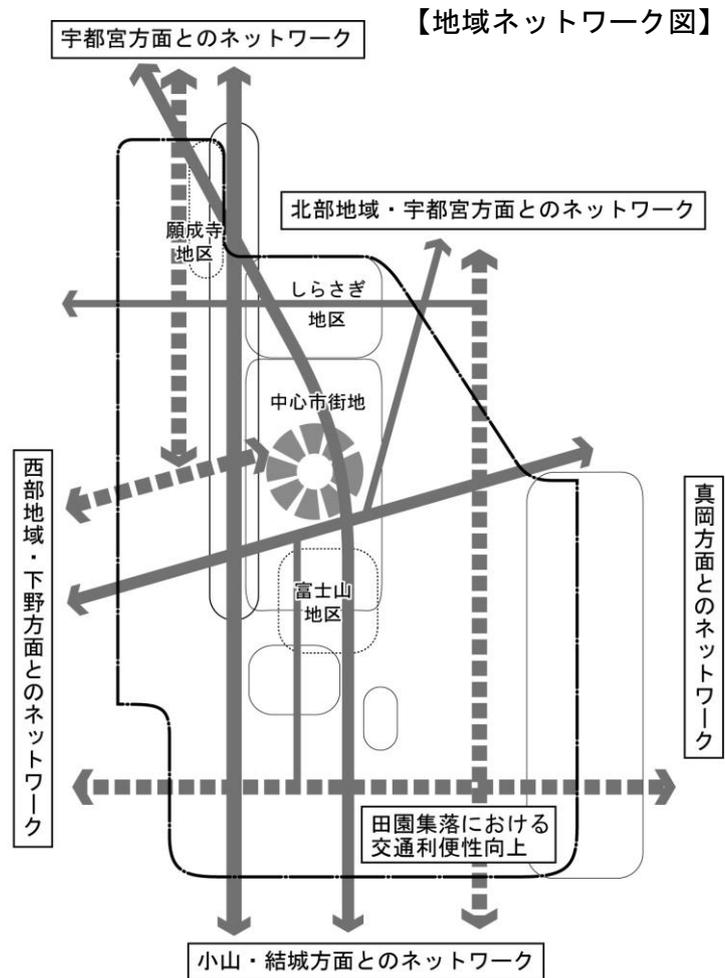


## 《中心市街地と田園集落の連携強化、均衡ある都市サービスの実現》

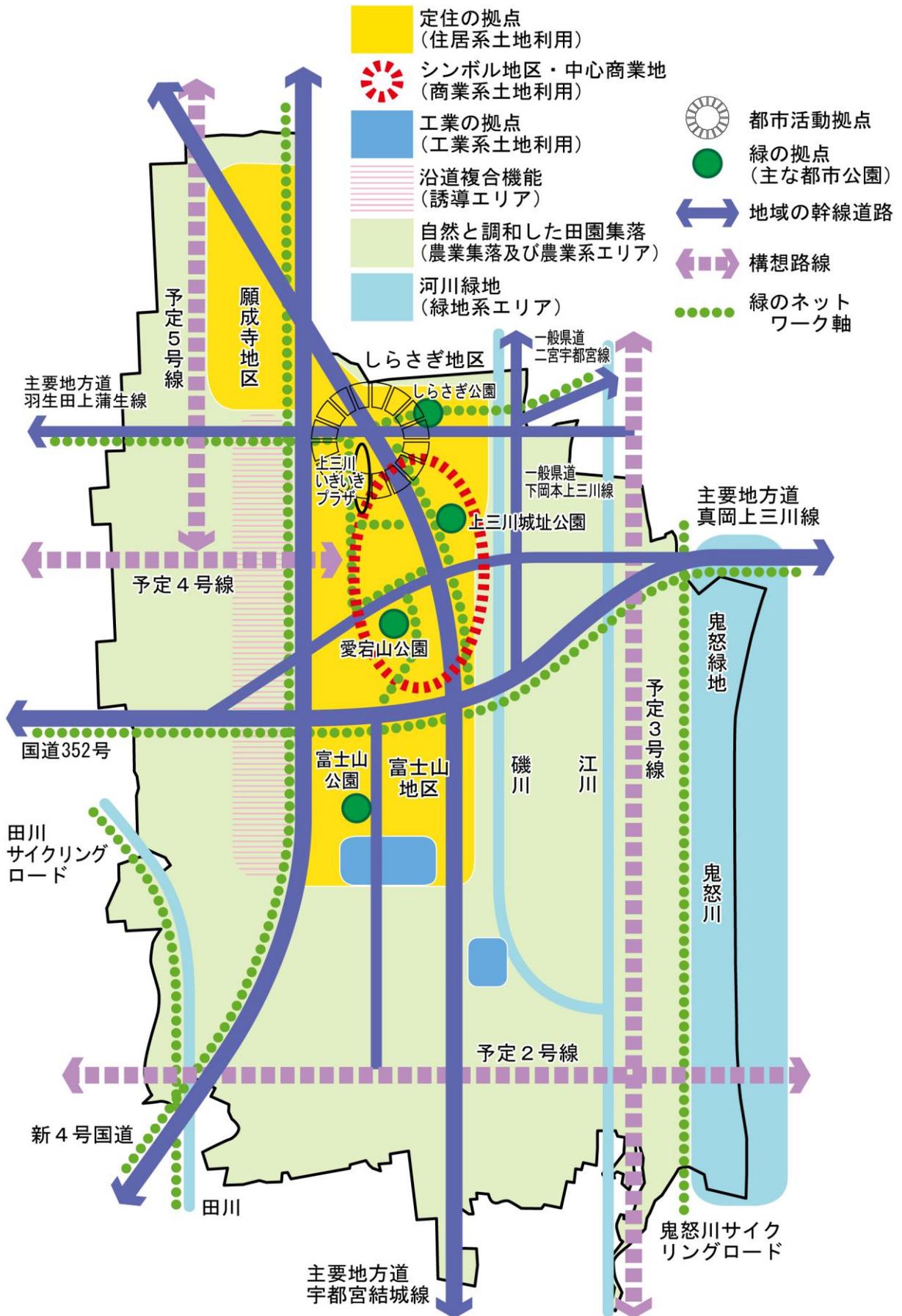
現在の道路網における東西方向（横）の連携強化の課題に対応した構想路線、その他幹線道路・補助幹線道路により、交通利便性の向上、地域内連携の強化、均衡ある都市サービス支援などを図る。

## 《緑のネットワークの形成》

地域の特性である中心市街地の歴史・文化遺産等、レクリエーション機能を有した貴重な自然環境である鬼怒川、その他公園等を結ぶ回遊ルートや歩行者・自転車が安全で快適に利用できる環境づくりなどにより、自然と都市の資源を活かした多様な魅力を有する緑のネットワークの形成を図る。



【地域まちづくり基本方針図】

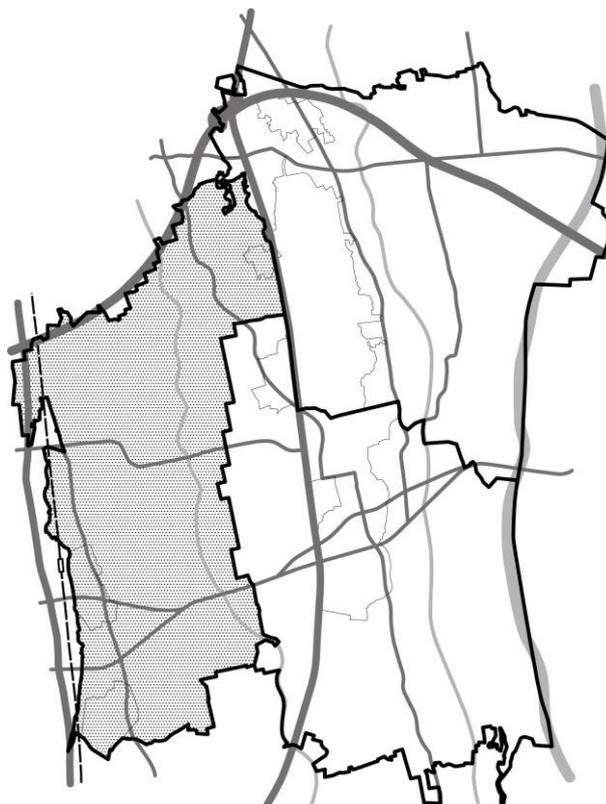


## 2. 地域別まちづくりの基本方針・西部地域

### (1) 地域の現況把握（現況シート）

#### ① 概要（人口・世帯数はH28/4/1現在）

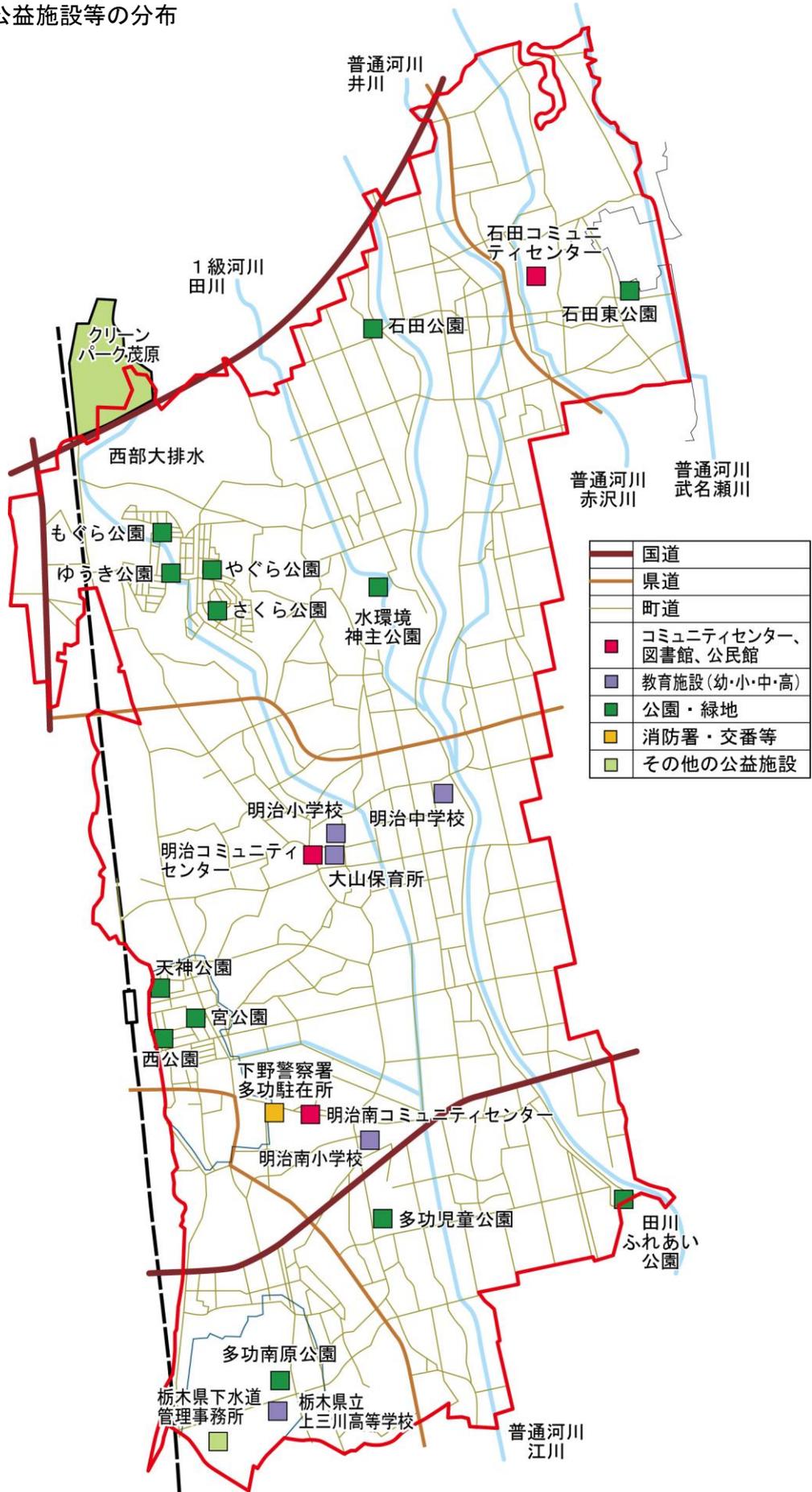
概況	<p>石橋駅東地区やゆうきが丘団地などの居住拠点が形成されているが、既成市街地においては都市基盤不足や狭小宅地等による居住環境の悪化がみられる。</p> <p>市街地以外については、田川などの豊富な水系を活かした良好な田園地帯となっており、その中に点在する田園集落についても、上三川らしい緑豊かな田園環境を形成している。</p>
面積	1,672.94 ha
人口	8,911 人
世帯数	3,042 戸
法規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域</li> <li>・用途地域(約 110ha)</li> <li>・農業振興地域 農用地区域</li> <li>・地域森林計画対象民有林</li> </ul>



#### ② 地域整備状況

面的整備	<p>区画整理：石橋駅東地区、多功南原地区</p> <p>その他の開発：ゆうきが丘団地</p>
道路	<p>都市計画道路：北関東横断道路、真岡壬生線、石橋駅東通り（一部未整備）、駅東中央通り、多功南原通り線、昭和通り（未整備）</p>
公園緑地	<p>都市計画公園：多功南原公園（近隣：1.0ha）、天神公園（街区：0.19ha）、宮公園（街区：0.23ha）、西公園（街区：0.16ha）、</p> <p>都市公園：石田公園（近隣：1.4ha）、多功児童公園（街区：0.29ha）、ゆうき公園（近隣：1.5ha）、さくら公園（街区：0.14ha）、やぐら公園（街区：0.12ha）、もぐら公園（街区：0.12ha）、石田東公園（街区：0.16ha）、田川ふれあい公園（都市緑地：1.2ha）</p>
供給処理施設	<p>町営上水道：整備中</p> <p>公共下水道：整備中（一部処理区域外）</p>
河川	<p>県管理河川：田川</p> <p>その他の河川：江川、西部大排水、井川、赤沢川、武名瀬川</p>
義務教育施設	<p>小学校：明治小学校（平成28年：331人）、明治南小学校（平成28年：147人）</p> <p>中学校：明治中学校（平成28年：435人）</p>

③ 公共公益施設等の分布



## (2) 地域の特性把握

地域の構成としては、石橋駅東地区の新市街地と西浦・富士見台地区の既存市街地による都市的空間、ゆうきが丘団地の住宅地や既存の集落、良好な農業基盤となっている田川沿いの水田地帯に分けられる。



石橋駅周辺の交通利便性に優れた定住拠点の形成が進む石橋駅東地区



地区計画による良好な住宅地形成が進むゆうきが丘団地



道路幅員が狭小で路面の損傷等も見られ、防災等の課題が多い西浦・富士見台地区



田園・集落・平地林等による豊かな農業生産環境とふるさとの風景



良好な環境を活かした散策や交流の場となっている田川サイクリングロード、田川ふれあい公園



良好な親水環境を活かし地域の憩いと散策等の場となっている水環境神主公園

### (3) 地域の将来イメージ

#### ① まちづくりのイメージの設定

まちづくりのイメージ

## 緑あふれる快適な居住環境づくり

石橋駅東地区やゆうきが丘団地等の住居系機能を核とした地域構造となっていることから、既成市街地を含め、自然と調和した上三川らしい定住を促進するための良好な居住環境づくりを大きなテーマとして掲げるとともに次の項目を課題・目標とする。

- ◎ 石橋駅東地区における定住を促進する機能の充実
- ◎ 既存の工業団地や広域的なネットワークを活かした活力ある産業基盤づくり
- ◎ 新市街地・既成市街地・田園集落における良好な居住環境の形成
- ◎ 住民のコミュニティ形成を支援するまちづくりの展開
- ◎ 自然・田園・河川と調和した上三川らしい都市景観の形成
- ◎ 田川の河川環境と良好な田園環境の保全・活用

#### ② まちづくりの基本方針

西部地域の個性を活かした魅力的なまちづくりを推進していくための基本的な方針を以下に示す。

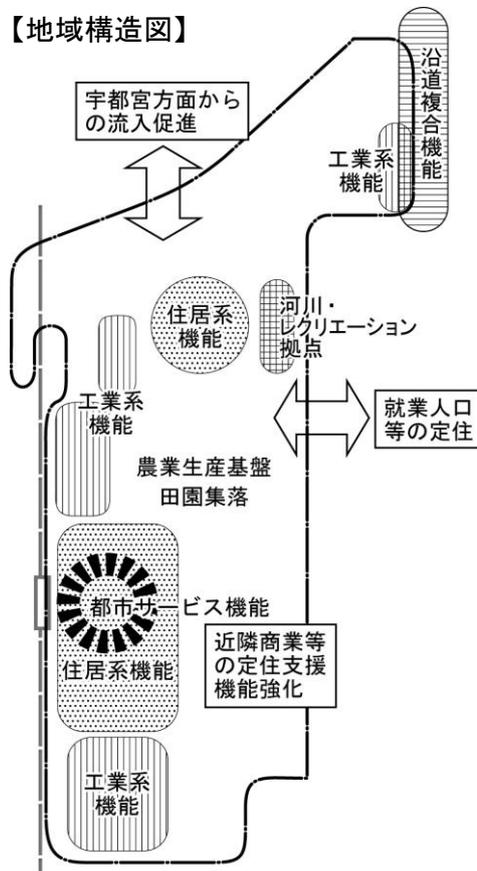
##### 《定住を促進する機能の充実》

石橋駅東地区やゆうきが丘団地などの居住拠点が形成されており、今後とも人口の定住拠点として、既成市街地も含めた住民に対する都市サービスの充実を図る必要がある。このため、地域の核となる石橋駅東地区において、定住を支援する都市サービス機能の充実を図る。

##### 《活力ある産業基盤づくり》

新4号国道による広域的ネットワークを活かし、石田工業団地・石田南工業団地における機能の維持・強化を図るとともに、さらなる工業機能の充実や町全体の工業活性化に向け、新たな産業拠点の形成を図る。

上記以外の新4号国道沿道においては、複合的な機能を想定しながら活力ある土地利用の誘導を図る。



### 《良好な居住環境の形成》

石橋駅東地区やゆうきが丘団地をはじめ、市街地や集落における居住環境の向上をめざし、都市基盤施設の適切な更新・維持・管理を図る。特に、西浦・富士見台地区等の安心安全な定住環境形成が課題となっている地区においては、都市基盤施設の整備等を図る。

### 《コミュニティ形成を支援するまちづくりの展開》

地域の住民が上三川町に愛着を持ち、地域の良さを実感できる、さらには連携・交流により新たな地域文化・生活文化が醸成していけるようなまちづくりを支援する。

### 《自然・田園・河川と調和した

#### 上三川らしい都市景観の形成》

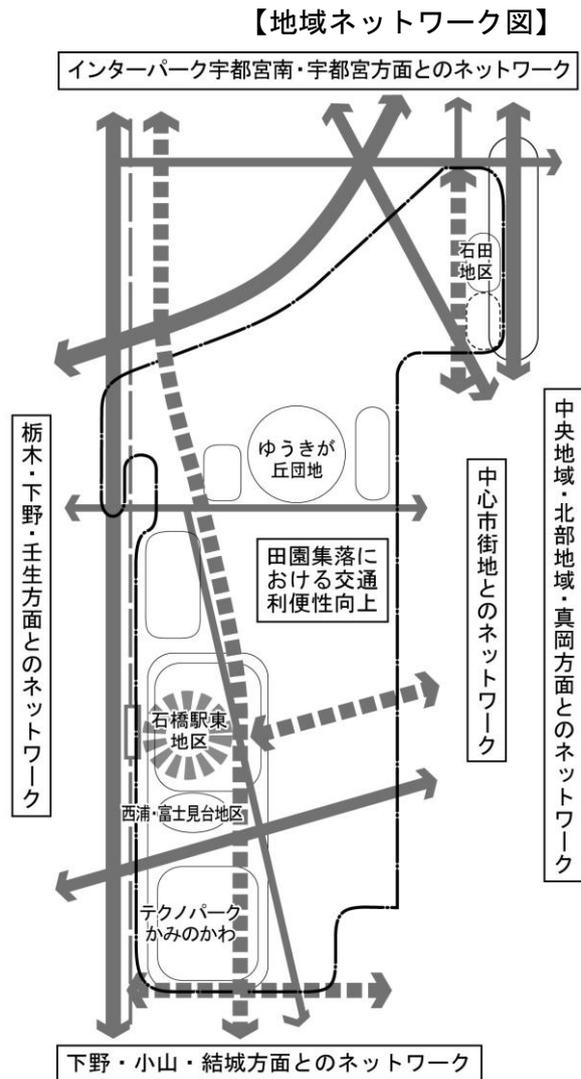
豊かな自然や田園風景と調和した上三川らしい魅力ある景観形成のため、住民のまちづくり意識の啓発等を通じ、住民主体の街並み形成を支援する。

### 《田川の河川環境と良好な

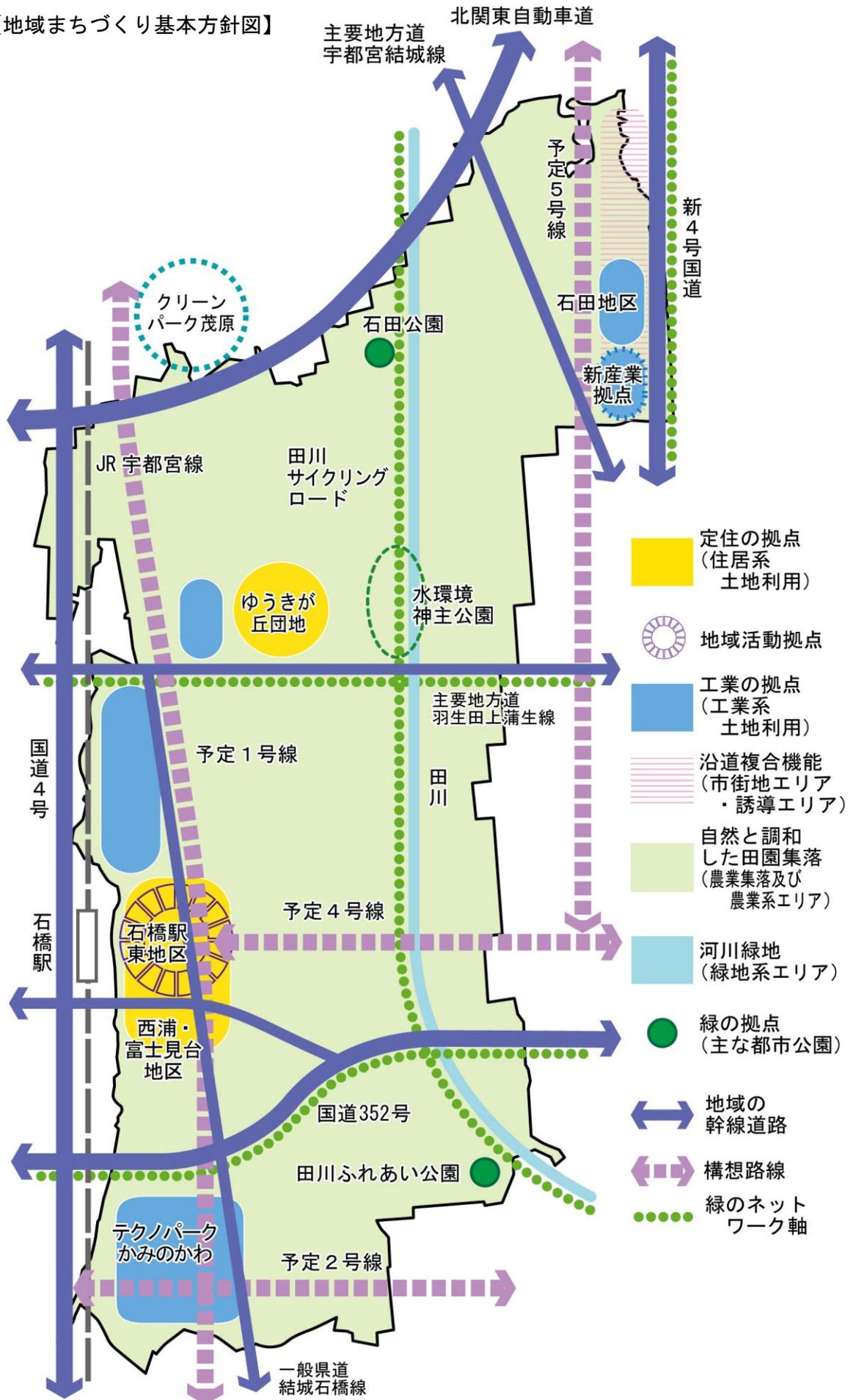
#### 田園環境の保全・活用》

田川等の河川の恵みを受けて広がる田園地帯の保全を図りつつ、水環境神主公園、田川サイクリングロード等を緑のネットワークにおける貴重な自然環境として位置づける。

こうした、上三川の豊かな自然にふれあうことができる環境は、定住を促進する魅力ある地域資源として有効活用を図る。



【地域まちづくり基本方針図】

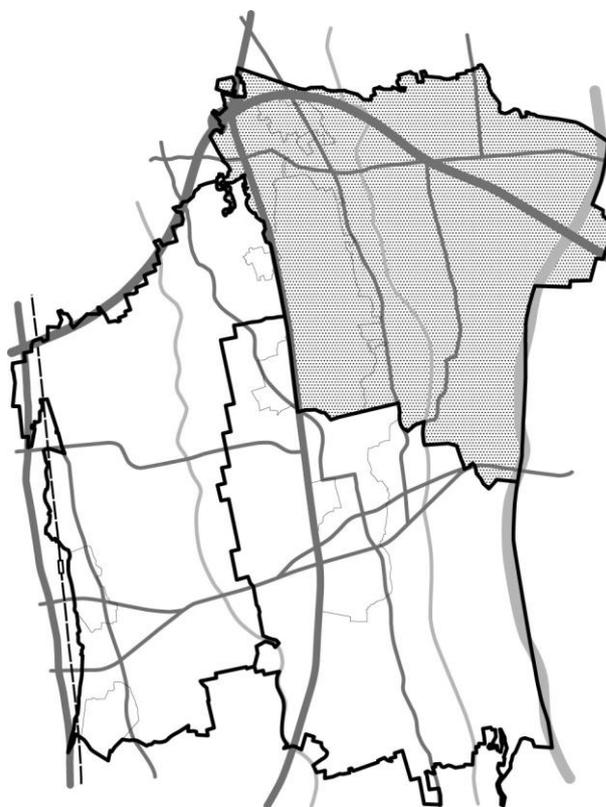


### 3. 地域別まちづくりの基本方針・北部地域

#### (1) 地域の現況把握（現況シート）

##### ① 概要（人口・世帯数は H28/4/1 現在）

概況	<p>北関東自動車道が整備され、複合的な都市拠点であるインターパーク宇都宮南、日産栃木工場などにより構成されている。また、地域の大部分は水田と田園集落、鬼怒川の河川緑地という上三川らしい緑豊かな環境となっている。</p> <p>鬼怒川のほかにも江川や磯川緑地公園など緑地的要素を備えた河川が多く、豊かな水辺環境が特徴となっている。</p>
面積	1,966.01 ha
人口	7,631 人
世帯数	2,470 戸
法規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域</li> <li>・用途地域(約 382ha)</li> <li>・農業振興地域 農用地区域</li> <li>・河川区域</li> <li>・地域森林計画対象民有林</li> </ul>



##### ② 地域整備状況

面的整備	<p>区画整理：東谷・中島地区</p> <p>その他の開発：本郷台団地、美里団地</p>
道路	都市計画道路：北関東横断道路、新4号国道、砂田磯岡線
公園緑地	<p>都市計画公園：ゆうがお公園(近隣：1.90ha)、きたはら公園(街区：0.11ha)、あかぼり公園(街区：0.20ha)、ひがしはら公園(街区：0.18ha)、ふざかし公園(街区：0.15ha)、いちょう公園(街区：0.19ha)、みさと公園(街区：0.13ha)</p> <p>都市計画緑地：6号鬼怒緑地(124.4ha)</p> <p>都市公園等：西原北公園(街区：0.19ha)、西原南公園(街区：0.11ha)、蓼沼親水公園(5.7ha)、蓼沼緑地公園(8.7ha)、桃畑緑地公園(7.1ha)、上郷公園(0.29ha)、篠郷池公園(防災調整池：1.5ha)</p>
供給処理施設	<p>町営上水道：整備中</p> <p>公共下水道：整備中(一部処理区域外)</p>
河川	<p>国管理河川：鬼怒川</p> <p>県管理河川：江川、篠郷川</p> <p>その他の河川：磯川、雀川、谷川、武名瀬川</p>
義務教育施設	<p>小学校：本郷小学校平成28年：149人、本郷北小学校(平成28年：367人)</p> <p>中学校：本郷中学校(平成28年：252人)</p>

### ③ 公共公益施設等の分布



## (2) 地域の特性把握

地域の構成としては、複合的な拠点であるインターパーク宇都宮南及び本郷台団地、町の工業の発展を支える日産栃木工場とその周辺の工業地、既存の田園集落、良好な農業基盤となっている江川沿いの水田地帯、広域的なレクリエーションや憩いの場となっている鬼怒川の河川環境に分けられる。



交通利便性に優れた定住拠点として街並み等にも配慮した市街化が進む本郷台団地



田園地帯の自然や鬼怒川の親水空間などの豊かな環境を有する本郷の集落



平地林や磯川緑地などの豊かな環境に立地する、活力ある工業拠点



緑道などが整備され、市街地から気軽に利用できる憩いの親水空間を形成する磯川緑地公園



豊かな自然と上三川らしい田園風景を満喫できる鬼怒川サイクリングロード



鬼怒川河川敷においてスポーツ・レクリエーション、交流等の拠点として活用されている蓼沼緑地

### (3) 地域の将来イメージ

#### ① まちづくりのイメージの設定

まちづくりのイメージ

### 自然と調和した活力と交流のまちづくり

インターパーク宇都宮南や既存工業拠点などの活力のある地域としての特性を有していることから、田園風景と調和し、周辺自然環境との調和、地域の生活環境と産業活動との共生などによる活力あるまちづくりを大きなテーマとして掲げるとともに次の項目を課題・目標とする。

- ◎ 広域的なネットワークを活用した都市機能の育成・強化
- ◎ 自然環境との調和や地域コミュニティとの共生を図ったまちづくり
- ◎ 既存の住宅地・集落や本郷台団地における均衡ある都市サービスの実現
- ◎ 鬼怒川・江川・磯川等の河川環境の保全・活用

#### ② まちづくりの基本方針

北部地域の個性を活かした魅力的なまちづくりを推進していくための基本的な方針を以下に示す。

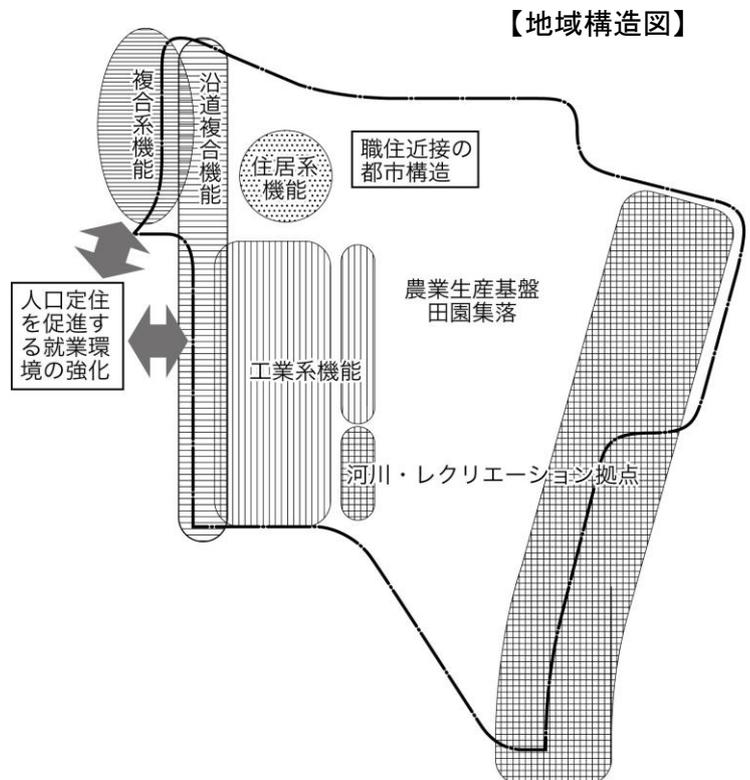
##### 《広域的なネットワークを活用した都市機能の育成・強化》

新4号国道による広域的なネットワークを活かし、沿道において、地域の活性化に向けた都市機能の育成・強化を図る。

##### 《自然との調和、地域との共生を図った新都市拠点の形成》

インターパーク宇都宮南、北関東自動車道と新4号国道の交差点部周辺、日産栃木工場などにおいては、地域と調和した拠点形成を促進し、住居・工業・複合拠点が共生する活力あるまちづくりを図る。

また、立地する企業等に対しても地域住民との交流や地域に開かれた施設の設置等を要請するなど、地域コミュニティとの連携・交流による多様な魅力のあるまちづくり活動を支援する。



### 《均衡ある都市サービスの実現》

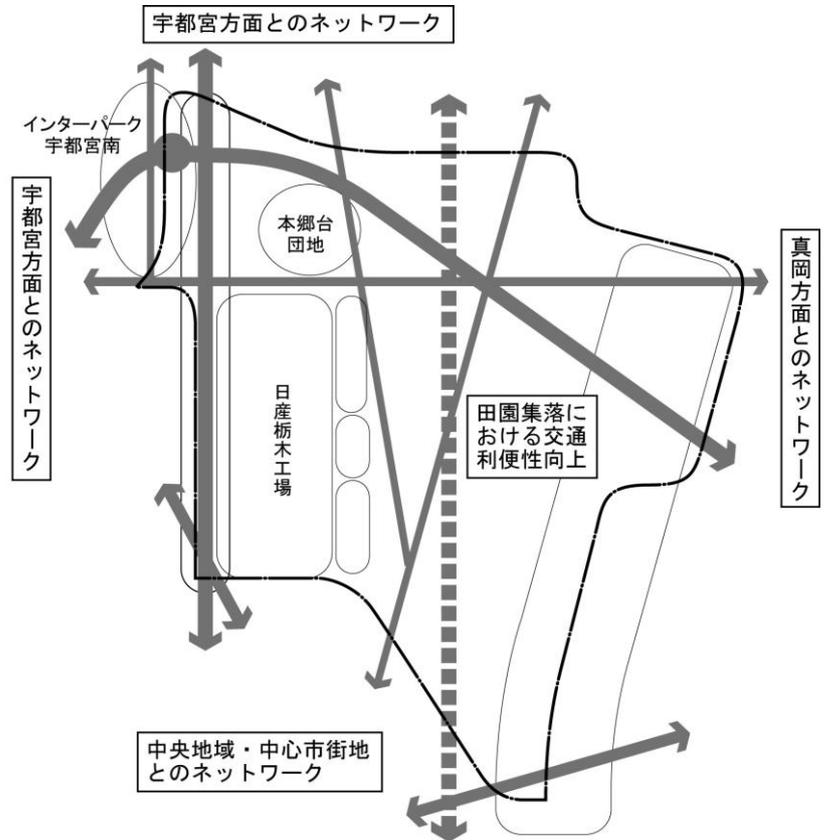
住居系の土地利用となっているのは本郷台団地周辺と水田地帯に点在する田園集落である。

今後は、人口定住を促進する職住近接型の居住拠点形成、田園集落の利便性・快適性等の居住環境向上のため、適宜、都市基盤施設等の整備・更新や適正な維持・管理等を図る。

### 《河川環境の保全・活用》

鬼怒川・江川・磯川等の町の原風景というべき河川環境と、河川の恵みを受けて広がる田園地帯の保全を図りつつ、鬼怒川（蓼沼緑地公園・蓼沼親水公園・桃畑緑地等）・サイクリングロードや磯川緑地公園等を効果的に連絡し、緑のネットワークの形成と河川・レクリエーション拠点としての位置づけ強化を図る。

【地域ネットワーク図】



【地域まちづくり基本方針図】

